

なんさい

2024
4
No.335



—— “地域” に寄り添い “未来” に繋ごう ——

トップニュース
JA青年の主張 全国大会

特集1
読者からのご意見紹介

特集2
自己改革の実践に向けた組合員との対話集会



JA南彩 | URL:<https://www.ja-nansai.or.jp>

ホームページで
広報誌「なんさい」が
見られます。



耕そう、大地と地域の未来。

2024
4
vol.335

CONTENTS

表紙の紹介.....	2	特集1 読者からのご意見紹介...	7
トップニュース		営農情報.....	8・9
JA青年の主張 全国大会.....	3	特集2 自己改革の実践に向けた組合員との対話集会.....	10・11
カメラニュース.....	4・5	生活情報.....	12・13
みんなの広場.....	6	お知らせ.....	14・15・16



部員募集

— 女性部に参加しませんか —

JA南彩 女性部

JA南彩女性部は女性に共通する願いを実現したり、地域に根ざした活動を目指します。

活動は

- 仲間づくり
- 健康づくり
- 地域に根ざした活動
- 食生活の見直し



おもな活動内容

- 農業体験支援活動
- グラウンドゴルフ大会
- 歩け歩け運動
- 食農教育にかかる活動
- 環境問題活動
- 加工品販売
- 健康体操
- JA女性大学
- 趣味の活動
- etc...



部費(年間) 500円 (活動内容によって実費をいただくことがあります)

申込み先 お近くの支店窓口・営農経済センターまで

J A青年の主張 全国大会

第70回 J A全国青年大会
主催 全国農協青年組織協議会



日本一 おめでとうございます



青年部吉田部長が快挙を達成 最優秀賞を受賞



2月28日、29日、都内文京区にある文京シビックホールで、「J A青年の主張全国大会」が開催され、青年部部長の吉田雅さんが関東甲信越代表として出場いたしました。

『農福連携への挑戦 未来に向かってステップアップ』を発表し、最優秀賞を受賞しました。

当日は組合長と多くの盟友も応援に駆け付け、素晴らしい発表になりました。吉田部長は「皆さんの応援が大変力になり良い結果につながりました。組合長はじめ盟友の皆さまには感謝しかありません。本当にありがとうございました」と話してくださいました。





女性部と常勤役員が意見交換を行う

2月15日、本店で女性部員12名及び女性理事が出席し、常勤役員と意見交換会を開催しました。女性部からは「JA南彩や女性部活動に期待すること」「支部の抱える問題・課題」について意見や要望が交わされ、部員からは、小規模な農家に対しての支援策、若年層の農業離れ対策、新規加入者や若い世代へ向けた女性部活動内容の見直し、出向く体制に対しての要望など、さまざまな意見が交わされました。

常勤役員は、現状や今後の対応について説明し「女性の声を反映し、より一層連携しながら、より良い事業運営を行ってまいります」と話しました。



意見交換を行う女性部と常勤役員

学びながら会員同士の交流もできた視察研修会

3月5日、蓮田地区資産管理友の会は、積水ハウス「Tomorrow's Life Museum」視察研修会を開催し、7名が参加しました。

積水ハウス施設にてモデルハウス見学をしながら、外壁や構造、現在の建物事情について学びました。その後、食事をしながら会員同士の意見交換をし、交流も深めることができました。

帰路の途中では、佐野厄よけ大師を参拝しました。



視察研修会に参加した会員

店舗統合オープンセレモニー

3月25日、岩槻城南支店と新和支店が統合し、新たな岩槻城南支店としてオープンいたしました。

当日は、JA南彩役職員、来賓の方々と共に式典を行い、テープカットをしオープンを祝いました。菊池組合長は「城下町岩槻の歴史をデザインに取り込んだ店舗となりました。今後も地域に根差した協同組合としての役割を發揮し、地域へ貢献をしております」と挨拶しました。お取引店舗の変更により、ご利用の皆さまには、大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のうえ、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



左から
株式会社松永建設 松永大祐代表取締役社長、高橋博建設委員長、小島信昭埼玉県議会議員、菊池組合長、JA埼玉県中央会 大島美昭部長、JA全農さいたま 戸田雅博副本部長、遊馬統括支店長

JA南彩青年部とJAいるま野東部後継者部会との意見交換会

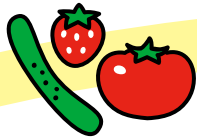
2月16日、青年部10名とJAいるま野東部後継者部会9名が参加し、意見交換会を開催しました。

JAいるま野東部後継者部会は、青年部吉田雅部長が経営する農業法人合同会社ネクサスグリーンと農福連携を積極的に取組んでいる就労継続支援B型アグリ園を視察後、青年部山下誠一副部長の水田圃場を視察しました。その後、久喜江面支店会議室で意見交換を行いました。地域の違いによる課題やJAに対する要望、共感できる悩みが多数あり、有意義な意見交換会となりました。

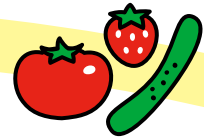
吉田部長は「非常に有意義な時間で今後も交流を深めていきたいです」と話していました。JAいるま野東部後継者部会の江原宏司部会長は「経営作物が違う部分も多く、良い刺激になりました」と話していました。



青年部



「農産物品評会」



3月5日、令和5年度「いちご」「きゅうり」の品評会を開催しました。

「とちおとめ」1点、「やよいひめ」9点、「あまりん」5点、「きゅうり」11点が出品されました。

「いちご」

(敬称略)

特別賞	氏名	地区	品種
JA埼玉県中央会会長賞	松本 勝宏	菖蒲	あまりん
JA南彩組長賞	市原 功樹	菖蒲	やよいひめ
埼玉いちご連合会会長賞	押田 英行	菖蒲	あまりん
JA埼玉県信連経営管理委員会会長賞	原田 典男	菖蒲	やよいひめ
JA全農埼玉県本部運営委員会会長賞	松本 勝宏	菖蒲	やよいひめ
JA共済連埼玉県本部運営委員会会長賞	青木 忠雄	菖蒲	やよいひめ

入賞	氏名	地区	品種
入賞	稲生 啓成	菖蒲	あまりん



「きゅうり」

(敬称略)

特別賞	氏名	地区
JA埼玉県中央会会長賞	内田 貞一	久喜
JA南彩組長賞	岸 勝美	菖蒲
JA埼玉県信連経営管理委員会会長賞	岸 博	菖蒲
JA全農埼玉県本部運営委員会会長賞	服部 和雄	菖蒲
JA共済連埼玉県本部運営委員会会長賞	吉田 和夫	菖蒲

入賞	氏名	地区
入賞	加藤 一雄	菖蒲



3月12日、令和5年度「とまと」の品評会を開催し、22点が出品されました。

「とまと」

(敬称略)

特別賞	氏名	地区
JA埼玉県中央会会長賞	田口 弘樹	春日部
JA南彩組長賞	齋藤 裕	岩槻
JA埼玉県信連経営管理委員会会長賞	森田 幸夫	白岡
JA全農埼玉県本部運営委員会会長賞	小川 隆史	春日部
JA共済連埼玉県本部運営委員会会長賞	大高 馨	白岡

入賞	氏名	地区
入賞	八木橋 益夫	白岡
入賞	山崎 守雄	白岡



岩槻支部

女性部



2月2日、岩槻城北支店会議室で、18名が参加し、自彊術(じきょうじゅつ)教室を開催しました。

講師の指導を熱心に聞きながら、無理のない範囲で自彊術に取り組みました。健康に関する活動は、興味を持たれる方が多いと改めて思いました。

※自彊術体操は31動作で構成される全身運動で、健康を回復し維持増進できます。



彩農あり!

みんなの広場

わたなべ まさはる
渡邊 真治さん

(久喜市菖蒲町柴山枝郷)

渡邊さんは以前、飲食店に勤務していました。40歳になって地元で農業をしたいという思いから昨年7月に就農しました。

就農するために山形県や県内の深谷ネギの産地まで行き、栽培のノウハウを得て、その後のネギ栽培にいかしてきたそうです。現在は農業法人「わたなべファーム」を立ち上げ、ネギを3ha栽培しています。

昨年は夏場の高温で生育が思い通りにいかないことがありましたが、無事に出荷し、作ったネギを美味しいと言って食べてもらうことが、農業をやっていて喜びや楽しさを感じる事が出来る瞬間だそうです。

そんな渡邊さんは「今後は栽培面積を広げて遊休農地の解消にも取り組んでいきたい。またネギのブランド化にも取り組んで地元の農業を盛り上げていきたいです」と話してくださいました。

(飯山通信員)



いちご狩り

内容は予告なく
変更することがございます。

期間 5月中旬まで

入園時間 平日・土日祝 9:30~15:00

料金	菖蒲グリーンセンター 制限時間45分			いちご農家 制限時間30分				
	1月6日~ 4月7日まで	4月8日~ 5月6日まで	5月7日~ 閉園まで	1月6日~ 4月7日まで	4月8日~ 5月6日まで	5月7日~ 閉園まで		
	中学生~大人	2,300円	1,800円	1,000円	小学生~大人 65歳以上	1,800円	1,500円	1,000円
	小学生・65歳以上 (要証明書)	2,000円	1,600円	1,000円		1,200円	1,000円	600円
幼児(3歳~未就学)	1,600円	1,200円	600円	幼児(3歳~未就学)	1,200円	1,000円	600円	

2歳以下(3歳未満)は無料

- ※菖蒲グリーンセンターでは、摘み取りながらお召上がりいただく方法と摘み取りとお召上がりいただく場所が異なる方法を行っており、場所の移動時間を含め、制限時間を45分間とさせていただきます。いちご農家は制限時間を30分間とさせていただきます。
- ※毎の生育状況および天候不順により休園させていただきます。また、開催する場合には、菖蒲グリーンセンターといちご農家の選択をすることができませんので、予めご了承ください。
- ※予約受付は菖蒲グリーンセンターで、団体さまのみとさせていただきます。受入れ人数には限りがあるため、ご予約いただけない場合がございます。またご予約いただきましても生育状況等により食べられない品種(あまりん、かおりん、とちおとめ、やよいひめ)があることもございます。
- ※マイクロバスで行くいちご農家へのいちご狩りは予約不可とさせていただきます。このため混雑状況等により乗車待ち時間が発生する場合がございます。また、マイクロバス運行のない日もございますので、事前にご確認ください。
- ※発熱等、体調不良のある方のご来園はご遠慮ください。

菖蒲グリーンセンター TEL 0480-85-4444 9:00~17:00

読者からのご意見紹介

日頃より、広報誌「なんさい」をお読みいただきありがとうございます。本誌では皆さまからいただいたご意見を一部ではありますがご紹介させていただきます。

4月号

いつも楽しみに拝読しています。TACの方々がとても親切に除草剤の使い方を指導してくださり助かります。やさしく親切な方でJAさんを身近に感じられました。
(菅蒲地区 50代女性)

当組合のキャッチフレーズ「地域に寄り添い未来に繋ごう」の通り、TACは組合員に寄り添い、今後も営農指導を行ってまいります。

5月号

「なんさい」は、いつもポストに入っていますが、5月号は直接受け取ることが出来ました。在宅ということもあったのですが、うれしかったです。
(蓮田地区 70代男性)

店舗統合により組合員の皆さまにはご不便をおかけしております。外務活動では皆さまとの会話を心がけ広報誌を中心にJAの取組みや地域の情報を発信してまいります。

6月号

JA南彩川柳コンテストの入選作品を読み共感するものばかり。楽しく読ませていただきました。自分ではなかなか詠めません。
(菅蒲地区 60代女性)

「なんさい」で通年を通じた企画として川柳コンテストを募集しております。頭に描いた何気ない日常の川柳の投稿をお待ちしております。

7月号

種芋などJAが一番だと思っています。営農センターや支店が遠くなって足を運ぶことが少なくなりました。渉外の方が頼りです。
(久喜地区 70代女性)

営農経済センターの統合により組合員の皆さまにはご不便をおかけしております。今後も出向く体制の強化をまいります。お気軽にご相談ください。

8月号

「なんさい」の特集は、支店別の総代会議案説明会質疑応答の記事が掲載され総代会の現実感があり大変良かった。

総代会は総会に代わるJAの最高の意思決定機関として開催しております。総代会の開催に先立ち各地区で支店別議案説明会を開催しております。本年も5月28日〜31日に各地区で議案説明会を開催いたします。開催後特集をさせていただきます。

彩農あり！を読んで大学卒業後、農業大学を出て就農、いろいろ研究しながら野菜作りをし、誰でも簡単に栽培をできたらと考え行動しているのはすごいです。
(宮代地区 60代女性)

9月号

彩農あり！を読んでいただきありがとうございます。JA南彩管内にはまだまだご紹介したい農家さんがたくさんいます。皆さん工夫をして農業を行う姿をこれからもご紹介してまいります。

表紙の写真、我が家の孫のようにかわいく思います。毎号楽しみにしています。

10月号

毎月いただく写真や、ご親族様からいただくコメントからはお子様を大事にする気持ちがとても伝わってきます。これからも素敵な写真をご紹介してまいります。

今回は共済のことで、お世話になりました。身近で分かりやすく説明していただき、安心してお願いすることができ、ありがとうございます。

「なんさい」が毎月来るのを楽しみにしています。特にクロスワードパズルは頭の体操になります。

ありがとうございます。ご不明な点やご不安な点がございましたら、是非お近くの支店までご相談ください。皆さまの役に立てるよう、活動いたしておりますので、お声かけください。

11月号

いつも「なんさい」を楽しんで読んでいます。年末ふれあい感謝祭も楽しみです！一年が早いですね。

いつも広報誌をお読みいただきありがとうございます。令和5年度はJA南彩ふれあい感謝祭も3地区で開催することができました。令和6年も各種イベントを開催していきます。

12月号

「なんさい」が毎月来るのを楽しみにしています。特にクロスワードパズルは頭の体操になります。

春日部市立牛島小学校での体験学習は、児童にとっても農業のことやJAのことを知ることができたと思います。「青パイヤ」について話や、袋詰め体験などができよかったです。

ありがとうございます。農業についてやJA南彩の新規作物である「青パイヤ」を今後も様々な面でPRをしていきたいと思えます。また、JA南彩YouTubeでも地場産野菜やレシピ紹介をしてまいります。

春日部市立牛島小学校での体験学習は、児童にとっても農業のことやJAのことを知ることができたと思います。「青パイヤ」について話や、袋詰め体験などができよかったです。

ありがとうございます。農業についてやJA南彩の新規作物である「青パイヤ」を今後も様々な面でPRをしていきたいと思えます。また、JA南彩YouTubeでも地場産野菜やレシピ紹介をしてまいります。

ありがとうございます。農業についてやJA南彩の新規作物である「青パイヤ」を今後も様々な面でPRをしていきたいと思えます。また、JA南彩YouTubeでも地場産野菜やレシピ紹介をしてまいります。

1月号

青パイヤの表紙、こんなふうの木に実がつくのだと初めて知りました。

久喜地区 70代男性

青パイヤの木は地植えで環境が良いと7m〜10mまで大きくなります。果実も豊富な栄養を含み、美容と健康に役立つスーパーフードです。是非料理にもご利用ください。

編集後記、同感です。クスツと笑ってしまいました。(久喜地区 70代女性)

編集後記まで読んでいただけただけのこと感謝いたします。いつもクイズの答えと共に送られてくる貴重なご意見は、広報担当のみならず、全職員にも周知させていただきます。

2月号

毎号特集記事である「私たちがあなたの地域の渉外担当者です」は、支店ごとの職員さんの構成がよく分かり、とても参考になります。

ありがとうございます。地域の渉外担当者として皆さまに名前と顔を覚えていただきましたでしょうか？本年度も皆さまに職員の紹介をできる企画を考えてまいりますのでご期待ください。

3月号

「TAC通信」の記事は、とても参考になりました。実践してみたいと思えます。

TAC通信の愛読ありがとうございます。TAC職員が自分の体験談や旬の記事を掲載しております。今後も「ためになる記事」を掲載していきます。

皆さまからいただいた貴重なご意見、ご要望は当組合の経営や運営、広報誌への企画に反映できるよう取り組んでまいります。

引き続き広報誌「なんさい」をよろしくお願いたします。

【JA南彩TACの活動】

JA南彩では、本店営農支援課にTAC管理者を置き、営農渉外（TAC）10名を各営農経済センターに駐在させ、日々業務に励んでいます。令和5年度は4月～2月までの11ヶ月間で、担い手や新規就農者を中心に約12,000軒を訪問しました。訪問活動以外にも、個人やエリアで目標を定めて、組合員と共に地域の活性化を目指した取組みを行っています。



【JA南彩TACのいろいろな取組み紹介】



【新入職員稲作研修】



【電気柵設置支援】



【もみ種鉄コーティング作業支援】



【篤農家研修】



【部会員圃場巡回】



【小学校田植え体験】



【圃場管理システム紹介】



【土壌研修会の参加】



【センター内での相談対応】



【アスパラ定植支援】



【TACミーティング】



【講習会の開催】

令和6年度もJA南彩TACは、生産者と共に頑張ります！ よろしくお願いたします！



『TAC』をご存じですか？

TAC（タック）とは、地域農業の担い手に出向くJAの営農経済を担当する渉外職員の愛称で、農業経営者を日々訪問し、農業経営に関するあらゆる相談に応えています。「地域農業の担い手に出向くJA担当者」の愛称をJA・連合会が一体（チーム）となって地域農業をコーディネートするという意味をもつ「Team for Agricultural Coordination」の頭文字をとって「T・A・C」と呼んでいます。

【ロゴマークとキャッチコピー】

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!



左側が地域農業の担い手とJA担当者であるTACが対話・相談しているシーンをイメージし、そうした対話を起点として生まれる課題解決やヒラメキを右側のエクスクラメーションマークで表現されています。

【TACの役割】

1. JAと組合員（特に担い手）の意見・要望を伺い、パイプ役としての訪問活動を行います。
2. 担い手に対し経営に役立つ各種情報をお届けします。
3. 組合員のご意見を受け、JA南彩の業務改善に繋がります。

【TACの主な業務内容】

1. 農業技術指導・営農相談
2. 各種営農情報などの提供
3. 農業所得増大・地域活性化応援プログラムによる支援・生産コスト低減・コンサル機能の強化・新規就農支援
4. 買い手のニーズと担い手の要望に基づいた地域生産振興の提案・支援
5. 営農計画策定支援システム等による経営・作業の見える化と年間作業の平準化・栽培提案
6. GAP（農業生産工程管理）・生産履歴記帳運動等の食の安全安心対策支援

自己改革の進捗をご報告するため昨年12月に各地区で「対話集会」を開催しました。多くのご意見やご質問をいただきましたので、Q&A形式でお伝えします。今回は、「自己改革」についてのご意見を掲載しておりますが、数回にわけて広報誌「なんさい」でご報告いたします。

自己改革については組合員皆さまの評価を踏まえながら、必要な見直しを行ってまいります。

【自己改革について】

Q1 自己改革について、JA南彩としては充分やっていると思うが、農家にはまだ届いていない。農業の問題は国単位で取組んでいかねばならないが、国は一部の成功話だけを取り上げてメディアでアピールするばかりで、地域の農業は衰退していく一方である。JAがもっと国へ向けて農家の現状、声を届けていってほしい。

A1 現在、国で食料農業農村基本法の見直しが論議されています。特に食料の安全保障においても食料自給率が約3分の1ということを考え、改めて国全体で考えていかなければなりません。農業者も収入が得られなければ安定した経営につながっていかないと農産物の適正な価格も、ある程度消費者側にも理解していただかないといけないと思っています。東京で行われた全国集会や県内の議員の方にも要請活動を展開しておりますが、今後も深刻な問題として受けとめ、様々な場面でつないでいきたいと考えています。

Q2 肥料の銘柄を集約したが、ホームセンターや他JAよりも価格が高い。

A2 特別値引きをしている品目もありますが、価格調査を行い価格の調整を検討いたします。

Q3 燃料配送センターから重油を購入しているが、共同購入によりさらに価格を安くすることが出来る仕組みを構築してほしい。

A3 現在、通常価格から重油は5円、軽油は3円引きの対応をさせていただいておりますが、今後も価格対策を検討してまいります。

Q4 岩槻農産物直売所の売り場面積を拡大することは考えているか。

A4 岩槻農産物直売所は都市計画法による用途制限により増築ができませんので、店内のレイアウトを工夫して売り場面積を広くすることを検討しております。

Q5 グリーンセンターの出荷に関して生産者の高齢化で農産物が少なくなっている。ミルクラン方式（巡回集荷）を活用したらどうか。

A5 直売所は品揃えが大事なので、出荷者の範囲を広げていきます。巡回集荷システムは今後必要になると思いますので検討させていただきます。

Q6 米の販売規格を増やしてみてもどうか。需要はあるのではないかな。

A6 イベントでは1kgや2kg売りをすることもありませんが、需要は見込めないと考えております。直売所では量り売りしております。

Q7 道の駅構想とグリーンセンター建替えの話があるがどうなっているのか。意欲のある方が出荷できるような対応をしていただきたい。

A7 道の駅構想は久喜市と協議中です。グリーンセンターは施設の老朽化と売場面積が手狭なので、建替えを検討しています。道の駅構想と併せて、久喜市と連携します。JA南彩管内全体で出荷できるよう対応していく考えです。

Q8 営農経済センターが3か所に集約されるが、新たな販売所は設けるのか。

A8 新たな販売所は現在のところ考えておりません。

Q9 新規就農者のサポートはどのようになっているのか。補助金はあるのか。

A9 行政と連携して支援をしています。TACが中心となり今年度は5件ほど支援をさせていただいております。JAグループでも新規就農者が農機具等を購入した場合、条件に合えば補助金の対象になります。また、当組合でも同様に、新規就農者に対しての補助金をご用意しております。

Q10 農協は、農家をやりたいと思えるようなバックアップをしているのか。

A10 新規梨栽培塾を開講しており、多くの受講生が参加されています。なかには、廃園予定の梨園を借り受けて、梨栽培を新規で始められた方もいます。令和6年度は新規いちご栽培塾を開講予定です。

Q11 新規作物の販路や販売形態はどうなっているのか。

A11 新規作物として青パパイア、アスパラガス、ほっとけ栗たんかばちや、カラフル人参、ペカンナッツに

取組んできました。それぞれ直売所や地元・提携スーパーで販売しております。カラフル人参は、ニーズの低下によりカリフラワーに切り替えることを検討しております。また、ペカンナッツは販売先を選定しております。

Q12 新規作物提案として、いちじくの加工品を目的とした果樹の生産拡大の推進と設備などの支援をお願いしたい。

A12 マーケットイン調査でもいちじくやアスパラは人気があります。産地化となるよう支援ができればと思います。現在は収穫までの期間が短いアスパラから取組んでおりますが、いちじくは産地が減っているため、産地化を目指していければと思います。

Q13 「マーケットイン」に基づいた販売方式の転換について、オイスツクスなど一部取組んでいるが、拡大して有利販売をしてほしい。また、久喜にある全農の物流センターに冷凍設備などを整備し、販売の工夫をすれば、価格の下落を防ぐことができないか。

A13 有利販売につきましては拡大強化を検討してまいります。久喜にある全農施設の一角に冷蔵倉庫を建設する計画はありますが、建築資材の高騰などにより現在は中断しております。県本部の全農物流センターについては、先日新しい倉庫ができ、広域物流配送を行っております。

Q14 離農される農家が増えている。農地を守る上で戦略作物を作って

J A南彩 組合員との対話集会

— 自己改革の実践に向けた組合員との対話集会 —

いかなりと農地の維持すら難しいのではないかと。JAと行政でスピーディーな対応を行っていただきたい。

A14 地権者の意見も聞きながら行政と連携し、対応していきたいと考えております。

Q15 高齢者が農業を支えている。地域のことを一番知っているJAが1番危機感を感じてもっと動いてほしい。JAからそういう意見を聞くこともなく、広報誌には良いことしか書いてない。

A15 春日部地区では米粉を活用した新たな消費として、春日部市とJA南彩が一緒になって取組んでいます。また、地産地消にも取組みながら、生産者の手取りを増やそうということも考えています。こういった取組みも、なかなか皆さまに伝わらないのは大変申し訳なく感じておりますが、ご意見を真摯に受け止め、様々な所で訴えていかなければならないと考えております。

Q16 担い手不足や耕作放棄地、食料自給率を上げる対策として、JAで専業農家のための準社員制度を設けて実際に農業をやる仕組みを考えてもいいのではないかと。

A16 地域の農地は地域で守っていくという動きがありますが、それには地域のリーダーが必要です。担い手不足、農地減少においては、深刻な問題として重く受け止めています。

Q17 農業経営体が減少している事例を教えてください。

A17 JA南彩管内の北部地区の梨農家が5年程前から毎年のように減っています。選果場の稼働が厳しくなったので統合させていただきまし。いちご農家においても高齢化で年々減少しています。

Q18 地域で農業人口が減少し農家組合も解散する中、農地を保全するのがやっとなあり、地域の担い手も少ない。今後農業はどうしていくべきか。

A18 この地域でも農家組合の衰退はみられ、担い手不足です。今はJAと行政、地域の皆さまも含め検討していく必要があると考えています。

Q19 個人の農家が人を雇って給料を払うのは厳しい。JAが職員を各農家に派遣してはどうか。

A19 子会社で研修生を雇い、研修後、独立して新規就農者を増やす計画がありますが、現在は作業受託等で手いっぱい状況となっております。

Q20 TACが土日有償で手伝うことは可能か。

A20 就業規則等の問題がありますが、TACに限らず職員の農業に限った副業を認めるべきか、アンケート調査を実施し検討しております。

Q21 ふれあい活動の充実とは何をやるのか。

A21 毎年、ふれあい活動委員会で内容を決定しております。その内

容は各地区の特性を生かしたものとなっております。地域貢献活動や、食育活動、農業体験などを行っております。

Q22 外務活動で、広報誌の内容などの告知をしながら対話を求む。

A22 広報誌などを話題にお話をさせていたしながら外務活動を行います。

Q23 外務活動だけでなく、TACや渉外担当者にもっと巡回してほしい。組合員との対話が必要で、積極的に訪問してほしい。

A23 一番重要なのは組合員のもとへ足を運んで、対話を通し情報を提供したり情報を頂いたりしながら相談活動ができるのがJAの一番の強みであり、これまでずっと築き上げてきた顔の見える事業活動が基本だと思っております。TACは担い手農家を中心に訪問しており、1日の訪問件数が少ないことを危惧しています。渉外担当者も事務が複雑になり事前準備や集計作業に時間をとられ訪問件数が少なくなっていますが、出向く体制を強化いたします。

Q24 P D C A サイクルがしっかりとなされているのか資料だけではなく透明だ。

A24 意見交換会などで報告してまいります。

Q25 中期3か年計画は、K P I (中間目標)ではなくK G I (最終目標)で検証したほうがいいのか。

A25 中期3か年計画では最終目標を設定し、K P Iによりプロセスを検証しています。毎年、上期と下期で検証し、場合によっては修正も行いますので、K P Iにて目標を管理しています。

Q26 JAは利益を出していいのか、利益を出しすぎではないのか。

A26 事業から生じた利益は、事業の成長発展を図るための投資、又は事業利用分量配当に充てるよう努めております。

Q27 店舗統合が進みこれからどうなるのか。

A27 組合員の皆さまとの対話を増やし、サービスの向上に努めます。一方では、経営の安定化を図り、皆さまの期待に応えられるよう事業展開してまいります。

Q28 今後のJA南彩事業はどうなのか。

A28 JA南彩の収益は信用と共済事業で、経済事業の赤字改善で、赤字幅を圧縮して改善しようという取組んでおります。信連の奨励施策が減り、農協が独自で運用しなければなりませんので、有価証券などで運用していかなくてはならないと考えております。

※類似の質問や内容につきましては一部要約させていただきますので、ご理解ください。

令和5年12月より運用スタート！
JA南彩管内の
生産者の皆さまへ

アプリで働き手を探しませんか？

利用には簡単な登録手続き（無料）が必要です。
下記の利用方法（ダウンロード）をご確認ください。



利用方法

ダウンロード方法

App StoreまたはGoogle Playにアクセスしdayworkで検索するか、カメラでQRコードを読み取り、表示されたアプリをダウンロードしてください。

iPhone/iPad



Android



※読み込みができない場合は、デイワークのホームページより、登録やログインができます。

ログイン方法

アプリを起動したら画面下にあるマイページのボタンを押します。開いたページを下にスクロールすると生産者専用ログインフォームがあります。運営会社から渡されたアカウント情報を入力し、ログインを押すとログインできます。



問い合わせ先 本店 営農部営農支援課 ☎ 048-720-8092

ストップ!

農作業事故

乗用トラクター事故 事例と対策

人間工学専門家・石川文武



事例1 春の昼下がりに、中山間地の傾斜圃（ほ）場で約20馬力の乗用トラクターで耕耘（こううん）を行っていた。圃場の隅まで耕耘しようとしてバックしていた。境目で停止できず1mほど下の圃場に転落した。2柱式（可倒式）のROPSを装着していたが倒したままだったので、オペレーターを守る安全空間が確保できず地面と機体に挟まれて死亡した。

対策 2柱式ROPSはハウス内や果樹園内作業以外では必ず立てて使用すること。ヘルメットをかぶり、シートベルトも装着し、放り出されないようにしましょう。転倒・転落しそうになったときはハンドルにしがみ付くこと。段差のある圃場端部では谷側は崩壊の可能性があるので無理して耕耘せず30cm程度は未耕地としましょう。（雑草防除は忘れずに）

事例2 定年帰農した農業者が農道との段差が1mほどの水田で代かきを行った。代かき終了後、進入路から退出し、左へハンドルを切った。車体が道路と並行になったので、ハンドルから手を離れたが、前輪は自動的に進行方向には戻らず、道路を踏み外しそうになったので慌ててブレーキを踏んだが、片ブレーキだったので急旋回し下の水田に転落した。4柱式ROPSだったので打撲だけで済んだ。

対策 定年帰農者や新規就農者は事前に農業大学校などで技術講習を受けておきましょう。自動車とトラクターではステアリングに違いがあり、前輪は自動的に車体の向きと同じには戻りません。圃場内では旋回しやすいように左右のブレーキが独立して作動するようにしますが、作業終了後は退出の前に再連結することを忘れてはいけません。最近のトラクターには、片ブレーキの表示装置がありますが、自動的に再連結はしません。圃場退出の前にブレーキの連結確認を必ず行いましょう。

令和6年度 春の農繁期(休日)対応について

営農経済センター 営業時間 8:45~12:00 主な肥料・農薬等の店頭販売の他、営農相談も承ります。

対応場所	電話番号	令和6年度対応期間
岩槻営農経済センター	048-798-0072	5/3(金) ~ 5/5(日)
春日部営農経済センター	048-736-5506	5/3(金) ~ 5/5(日)
中部営農経済センター (蓮田・宮代・白岡)	048-768-5556	5/3(金) ~ 5/18(土) 5/12(日)は休業
北部営農経済センター (久喜・菑蒲)	0480-85-7334	5/11(土)、5/18(土)、5/25(土)、6/1(土)、6/8(土)

農機センター 営業時間 8:45~17:00 農業機械の修理・整備・販売を承ります。

岩槻/春日部	048-766-3187	4/27(土) ~ 5/26(日)
蓮田/宮代/白岡		5/3(金) ~ 6/16(日)
久喜/菑蒲		

燃料配送センター 営業時間 8:30~12:00 軽油・重油の配送販売承ります。

全地区	0480-23-0471	5/3(金) ~ 5/4(土)
-----	--------------	-----------------

※上記期間について、春の農繁期に伴い、土・日・祝日の営業を行います。

JAバンク埼玉 優遇プログラム



本プログラムの対象となる方は、JAとのお取引に応じてコンビニATM(※1)での入出金手数料がひと月に最大5回無料(※2)になります。

JAとお取引のある個人の方すべてが対象となりますので、引き続きさまざまなライフプランやニーズに合わせてJAバンクをご利用下さい。

- 年金振込 ③ ポイント
- 正組合員資格 ② ポイント
- 准組合員資格・正組合員の同居家族 ② ポイント
- 給与振込(月額5万円以上) ② ポイント
- 通帳し入(当座性貯金を含むで1000以上が通帳し入となっていること) ① ポイント
- 個人IB(インターネットバンキング) ① ポイント

ステージ2以上のお客様が優遇対象です

- セブン銀行
- ローソン銀行
- イーネット

コンビニATMが

ATM 入出金

最大 1か月5回まで

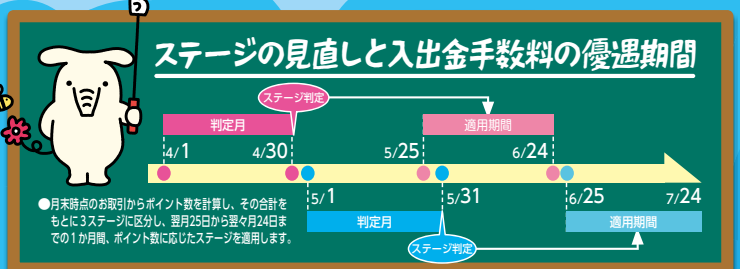
手数料 無料

入出金手数料のご案内

優遇の対象取引・判定期間等・優遇資格のくわしい内容については、お取引JAの窓口または「JAバンク埼玉優遇プログラム規定」によりご確認ください。

金融機関	JAバンク	セブン銀行	ローソン銀行	イーネット
平日 8:45~18:00	0円	110円	110円	110円
土曜日 9:00~14:00	0円	110円	110円	110円
平日、土曜日その他の時間帯および日曜日、祝日	0円	220円	220円	220円

※お客様が、優遇ステージ2以上に該当し、入出金手数料の優遇回数が残っている場合、上記コンビニATMの入出金手数料が無料となります。



【自身のステージ確認方法】

- JAネットバンクにログインいただくことで確認いただけます。
- お取引のあるJAの窓口でお申し付けいただくことも確認いただけます。
- コンビニATM(セブン銀行・ローソン銀行・イーネット)での入出金取引後に出力される明細票でも確認いただけます。

相談会のご案内

JAでは相談会を開催しています。お気軽にご利用ください。

営農相談

直売所・出荷場を中心に、病虫害防除・雑草防除の営農相談コーナーを開設いたします。

4月4日(木)・5月2日(木)

岩槻農産物直売所
あさつゆの里
9:30~11:00
048-798-8311

4月16日(火)・5月17日(金)

久喜農産物直売所
久喜キラリ直売館
9:30~11:00
0480-25-1183

4月18日(木)・5月21日(火)

菖蒲グリーンセンター
9:30~11:00
0480-85-4444

※都合により時間が変更になる場合がございます。

情報提供窓口設置のご案内

JA南彩の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法第35条の5(監事の職務等)及び農協法施行規則第81条(監事の監査報告の作成)に基づき、理事の職務の執行を監査する上で、理事の職務遂行に関する幅広い情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を求めています。

当組合の理事の組合経営に関する上記の情報について、右記のとおり窓口を設置しておりますので、電話または封書にて連絡くださいますようお願いいたします。

なお、ご厚意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

南彩農業協同組合 監事会

ご連絡先

住 所 〒344-0064
埼玉県春日部市南2-4-30
電話番号 048-720-8051
担当部署 監査室(監事会事務局)
受付監事 常勤監事 今井 清志 宛
受付時間 午前8時30分~
午後5時00分にお願ひします。
(土・日・祝日を除く)

当組合の業務に関する相談・苦情については、本支店で受け付けておりますのでご利用ください。

相談・苦情受付窓口

お近くの
支店
または、

貯金・融資などに関することは **金融共済部 金融課 (TEL 048-720-8053)**
生命・建物・自動車共済などに関することは………
金融共済部 共済課 (TEL 048-720-8057)
購買などに関することは……… **経済部 経済課 (TEL 048-720-8093)**
販売などに関することは……… **営農部 生産販売課 (TEL 048-720-8092)**

受付時間：午前8時30分~午後5時00分(土・日・祝日を除く)

お詫びと訂正

なんさい3月号No.334の7ページ『第67回 JA共済 全国小・中学校 書道コンクール』において受賞されました賞名に誤りがございました。

誤) 埼玉県農業協同組合中央会会長賞 春日部市立豊春中学校 2年 石田 優奈さん
テレ玉賞 蓮田市立蓮田中央小学校 5年 山部 凜花さん



正) テレ玉賞 春日部市立豊春中学校 2年 石田 優奈さん
埼玉県農業協同組合中央会会長賞 蓮田市立蓮田中央小学校 5年 山部 凜花さん

受賞者の方々および関係の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げます。

南彩インフォメーション

information



クロスワードパズル

出題 ニコリ

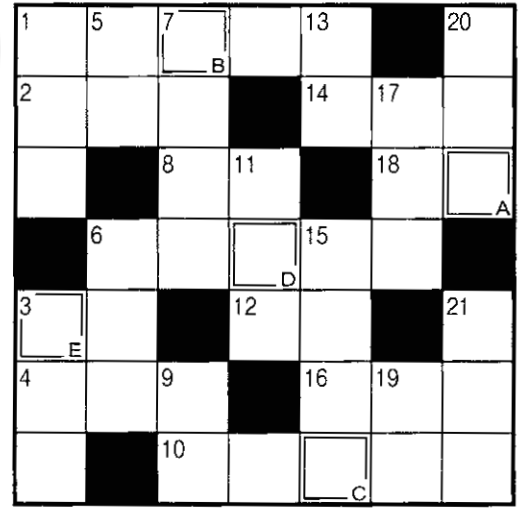
二重マスの文字をA→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

タテのカギ

- 1 ゴルフプレーヤーがカードに記録します
- 3 眠いときにします
- 5 アマではありません
- 6 お花見といえばこの花
- 7 テレビやエアコンの操作に使います
- 9 お酒は飲めません
- 11 みそ汁の具にしてもおいしい二枚貝
- 13 ストレスがたまるとこぼしたくなることも
- 15 ダブルプレーともいいます
- 17 湯が冷めないよう —— ポットに入れた
- 19 当たりかな、外れかな
- 20 山梨県の県庁所在地である市
- 21 馬に乗る人のこと

ヨコのカギ

- 1 冬がウインターなら、春は
- 2 天ぷらやフライに付けられています
- 3 煮物を作るときにすくうこともあります
- 4 水中をふわふわと漂う生き物
- 6 平面は2次元、立体は
- 8 桃太郎がきび団子を着けていた場所
- 10 入学式で胸に着けるお母さんもいます
- 12 メジロやヒヨドリが吸うもの
- 14 関東 ——、 —— 裁判所
- 16 漢字で書くと土筆。春の山菜です
- 18 オンの反対語



応募方法

正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼント。

【締切日】4月末日

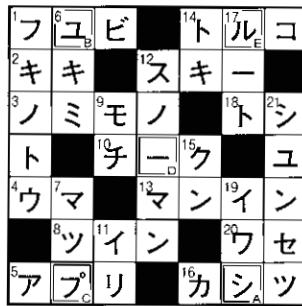
発表は6月号です。

2月号の答え

答え シュプール

2月号応募総数62通

当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



63 〒344-0064
春日部市南
二丁目4番30号
J A 南彩
広報係

● 郵便番号・住所
● 氏名・年齢
● J A 南彩と本誌への
ご意見・ご希望・短歌・
イラストなど

※応募ハガキに基づく個人情報は抽選、景品の発送、意見等の掲載に使用させていただきます。あらかじめご了承ください。
※おひとり様1枚までのご応募とさせていただきます。

【理事会だより】

令和6年2月27日、定例理事会が行われ、次の事項について審議され、全議案原案通り可決承認されました。

- (1) 令和6年1月末財務状況及び3月末見込みについて
- (2) 令和3年産出荷契約米の最終精算について (J A 南彩米穀共同計算委員会報告)
- (3) 令和5年産くず米精算について
- (4) 令和5年産特別栽培米最終精算について
- (5) 理事の行為規範の一部変更について
- (6) お客さま本位の業務運営に関する取組方針の一部変更について
- (7) 職制規程(機構図)の一部変更について
- (8) 貸出金利基準の一部変更について
- (9) 職制規程(職制規程・業務分掌兼職務権限表)の一部変更について
- (10) 令和6年度J A住宅ローン金利軽減の考え方について
- (11) 嘱託職員就業規則および再雇用規程の一部変更について
- (12) 就業規則およびパートタイマー就業規則の一部変更について
- (13) 携帯情報端末等管理規程の制定について
- (14) 令和7年度職員採用計画について
- (15) 遊休資産(旧豊野支店)の売却処分について
- (16) 高額融資案件の承認について
- (17) 高額融資案件の承認について

主要事業の概要

—— 令和6年2月末現在 ——

出資金につきましては、29億2,535万円です。

	令和6年2月末	令和5年3月末	前年度末増減
正組合員数	9,264人	9,216人	48人
准組合員数	19,484人	19,166人	318人
組合員数合計	28,748人	28,382人	366人

	令和6年2月末	令和5年2月末	前年度同月対比
貯金高	2,797億667万円	2,823億286万円	99.0%
貸出金	689億5,397万円	666億1,746万円	103.5%
共済保有高	5,954億5,371万円	6,069億7,931万円	98.1%
販売高	26億8,110万円	24億5,802万円	109.0%
購買品I供給高	21億404万円	21億5,251万円	97.7%
購買品II供給高(各直売所)	10億8,526万円	10億4,148万円	104.2%

※ 貸出金については、貸付留保金を控除しています。

編集後記

新年度が始まり、皆さまの生活にも変化がございましたでしょうか？ Sも課が異動となり、最後の編集後記となりました。一年間誠にありがとうございました。話は変わりますが、40代の私は鳥山明先生の作品を多く見てきました。先生のように、皆さまの心に残る作品にできるような広報誌をJ A 南彩は作成できるよう努力してまいります。 編集担当 S



令和7年度 JA南彩職員募集



“地域”に寄り添い “未来”に繋ごう

素敵な仕事を素敵な笑顔で♪

あなたの力で地域の皆さまの期待に応えませんか!!

職 種 ▶ 総合職

採用予定人数 ▶ 若干名

応募資格 ▶ 令和7年3月までに大学・短大及び専門学校卒業見込の方

※令和7年4月において車通勤が可能な方



マイナビ2025

左記のQRコードのマイナビサイトからエントリーして下さい。



お問い合わせ先

〒344-0064 埼玉県春日部市南二丁目4番30号

JA南彩 企画管理部人事教育課

TEL 048-720-8050

お知らせ

ご葬儀の事前相談・ご連絡は

JA葬祭総合センター

0120-145-731 (24時間・365日対応)



▲こちらの問合せフォームからメールでの相談も可能です。

番号案内サービス(104)へお問合せの際は、必ずJA南彩の葬儀とおたずねください。